

二宮小学校だより



にのみや学園

二宮町立二宮小学校学校だより

令和5年度第2号(6/14発行)

6月8日(木)に関東地方もいよいよ梅雨入りしました。これから7月中旬頃まで、雨の多い、うっとうしい季節になりますが、気持ちは爽やかやかに、そして晴れやかでいたいものです。

6年間の一大行事、修学旅行

5月18日(木)から19日(金)にかけて、6年生が修学旅行に出かけました。私も同行してきたのでそのときの様子をお伝えします。

まず、二宮から日光まで修学旅行専用列車に乗って向かいました。8時45分二宮駅発、13時09分日光駅着の4時間24分。長い道のりです。しかし、電車の中では、止まることのないおしゃべり、ウノ、トランプなどのカードゲーム、写真撮影など、思い思いの楽しい時間を過ごし、子どもたちにとってはあっという間の4時間だったようです。



日光に着いてからの最初の見学地は湯滝。間近で流れ落ちる迫力満点の滝です。マイナスイオンを十分に浴びながらしばし見とれていました。



その後、竜頭の滝を見学した後、1日目最後の見学地の華厳の滝へ。地上からエレベーターで100m下り、ひんやりとした通路を通って滝へと向かいます。落差が約100mの滝ですが、この日は水量が少なく迫力にやや欠けていました。ちょっと残念！



途中、男体山や戦場ヶ原、中禅寺湖も目にし、日光の自然に十分ふれた1日目でした。

2日目は、輪王寺の見学からスタート。三仏堂の中に入り、大きな三体の仏像を下から見上げました。その後、日光東照宮へ。三猿、想像の象、眠り猫の彫刻や陽明門、鳴き竜など見どころがいっぱいです。どの子どももガイドさんのわかりやすい説明に熱心に耳を傾けていました。



その後、二荒山神社を通り大猷院の見学をし、多くの国宝や重要文化財にふれた2日目の日程を終えました。

雄大な自然や世界遺産にふれ、友達との仲を深め、充実した2日間になったことでしょう。

4年ぶりの運動会

5月31日(水)、4年ぶりとなる全校児童による運動会が行われました。当日は、朝まで雨が降ったりやんだりしていたため競技の開始を40分ほど遅らせましたが、全ての種目を午前のうちに実施することができました。雨が止んだのは、子どもたちの願いが天に届いたからでしょう。

今年のスローガンは、「みんなのスマイルで最高の思い出を作ろう！」でした。開会式では「みなさん一人ひとりが精いっぱい力を出せば最高の思い出を作ることにつながりますね。」と話しました。

では、各学年の表現を中心に紹介します。

まずは1年生による「いけ！いけ！ピッカピカ」。手足の曲げ伸ばしをしっかりと、とにかく大きく踊ることを心がけました。手にリボンをつけてのダンス。ピッカピカのポーズが決まっていました。



次に2年生による「スマイル」。2年生らしいとびきり輝いたスマイルを4年ぶりの運動会でみなさんに届けました。最後は一人ひとりが考えた決めポーズ。かっこよかったです。



次に3年生による「行け！みんなでミックスナッツ」。テンポの速い曲に合わせていろいろなステップを踏むことに加え、一つ一つ動きを止めるなどメリハリをつけて踊ること。とても難しかったですが、見事に踊りきりました。



そして4年生による「フラッグダンス“グッドラック”」。フラッグを、速く動かすところは速く、ゆっくり動



かすところはゆっくりなど緩急をつける、そして大きくエネルギーに動かす、実に見ごたえがありました。

最後は5・6年生による「綱引踊～漆黒の漁師たち～」。腕を思いっきり伸ばして広げる、綱を引く動作の時は腰をしっかりと落とすなど大きく踊ること、そして顔の表情がくずれるくらい大きな声を出すこと、この2つに力を入れました。当日は、雲を吹き飛ばすくらいの踊りを見せてくれました。



創立 150 周年に寄せて

昨年度の二宮小学校だよりで紹介した内容も含め、1873年（明治6年）の開校から昭和初期までの歴史をダイジェスト版でお伝えします。

●二宮小の起源

1873年（明治6年）11月20日、現在の知足寺（元町南地区、当時の二宮村）の本堂を仮校舎にあて、「思文館分校」として開校しました。

●校舎が現在の位置へ

1878年（明治11年）に二宮村と山西村に接する現在地に「二宮小学校」として移転し、1895年（明治28年）、「尋常吾妻小学校」となりました。（児童数448人）

●開校記念日の由来

1895年（明治28年）8月に校舎が竣工しましたが、暑さが厳しく、日清戦争戦死者の葬儀も予定されていたので、落成式と学校の改名（尋常吾妻小学校）披露をも含んで、11月20日に式典を行い、この日を開校記念日としました。

●大正時代

1923年（大正12年）4月に「吾妻尋常高等小学校」となりました。また、その年の9月1日に関東大震災が発生しました。当日は始業式が終わって児童が下校した後であり、学校では惨事とはなかったようです。（児童数1,399人）

●昭和時代初期

1935年（昭和10年）11月に吾妻村が二宮町に改められ「二宮尋常高等小学校」となり（児童数1,523人）、その後、1941年（昭和16年）4月に「二宮町国民学校」となりました。（児童数1,588人）

～新たに紹介する二宮小学校の歴史～

●二宮町立二宮小学校へ

1947年（昭和22年）4月に学校教育法が施行されるに伴い、現在の学校名である「二宮町立二宮小学校」となりました。（児童数1,730人）

●校歌制定と二宮金次郎の像

1951年（昭和26年）5月に校歌が制定されました。歌詞は、二宮町全町からの応募作品より、諸星利作氏が作詞した現在の校歌である「うらら、うらら」で始まる作品が一位入選となりました。曲は横浜国立大学の月岡忠三教授により作られました。またこの年の7月に、二宮金次郎の石像が校庭に設置されました。現在も二宮小学校にある金次郎像ですが、2代目となります。初代の像は、1936年（昭和11年）に銅でつくられましたが、そのわずか6年後、戦争による金属回収で供出されてしまったのです。



●学校給食開始

1959年（昭和34年）3月4日、前年の11月から学校内に建設を始めた給食調理室が完成し、学校給食が始まりました。第1回の給食メニューを調べてみましたが、残念ながら資料は残っていませんでした。また、この年度の児童数は、二宮小学校本校だけで1,776人でした。最も児童数が多かった学年は5年生で366人。7組まであったので、1クラスに52人の児童が在籍していたことになります。

●二宮町立二宮小学校一色分校開校

一色小学校が開校されるまで、一色地区在住の1年生から4年生の児童は、二宮町立二宮小学校一色分校に通っていました。しかし、二宮団地造成に伴い、分校では児童を収容できないため、1965年（昭和40年）5月、二宮町立一色小学校が開校しました。それに伴い、二宮小学校一色分校は閉校となりました。

【参考文献：「開校百年 二宮のみや」（二宮町立二宮小学校創立100周年記念誌）、「二宮町郷土誌」】